

報道関係各位

第46回日本ショッピングセンター全国大会を開催

有料セミナーは、2月25日までアーカイブ受講を受け付けております。

伊藤二三さん(三井アウトレットパーク木更津「ジズ」)が、大賞・SC接客日本一に輝きました。

一般社団法人日本ショッピングセンター協会(会長:清野 智)は、1月26日(水)~28日(金)の3日間、パシフィコ横浜(神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1)においてショッピングセンター(SC)業界最大のイベント、「第46回日本ショッピングセンター全国大会(SCビジネスフェア2022、第27回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会)」を開催しました。

「SCビジネスフェア2022」の入場者数は、パシフィコ横浜の展示ホールで開催した「商談展示会」で延べ21,330人[前回53,400人]、アネックスホールで開催した「セミナー・シンポジウム」は2日間で延べ860人(会場およびWebライブ受講)[前回1,200人(会場受講のみ)]でした。また、「第27回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会」の見学者数は延べ1,200人[前回2,400人]となり、第46回日本ショッピングセンター全国大会は延べ23,390人の参加を得て終了しました。

なお、今回はリアルとオンラインのハイブリッドで開催しており、一部セミナーは2月28日までアーカイブ配信をご受講いただけます。日本経済を牽引するさまざまな業界リーダーのお話をお聞きいただけるたいへん貴重な機会となっております。

次回の『第47回日本ショッピングセンター全国大会』は、2023年1月25日(水)~27日(金)に開催の予定です。

報道関係の皆様には取材に多数ご来場いただき、誠にありがとうございました。

◆第46回日本ショッピングセンター全国大会 延べ入場者数

[人]

	1/26(水)	1/27(木)	1/28(金)	合計
SCビジネスフェア2022				
商談展示会 <展示ホール>	8,544	6,549	6,237	21,330
セミナー・シンポジウム <アネックスホール・Web>	480	380	—	860
第27回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会	—	—	1,200	1,200
合計	9,024	6,929	7,437	23,390

* 上記は速報値のため後日修正させていただく場合があります。

◆第27回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会

【大賞・SC接客日本一及び経済産業大臣賞】

(敬称略)

競技No.	氏名	SC名	店名	支部(地区)
26	伊藤 二三	三井アウトレットパーク木更津	ジズ	関東・甲信越



※お手数料をおかけ致しますが、掲載紙・誌をお送り
くださいますようお願い申し上げます。
掲載部分をFAXにてお送りいただいても結構です。

SCビジネスフェア2022

1月26日～28日に、21,330人の皆様にご来場いただきました。
2月7日～2月28日までの間、有料セミナーのアーカイブ配信いたします。

- ◆会期 2022年1月26日(水)～28日(金) 10:00～18:00(最終日は17:00終了)
- ◆会場 パシフィコ横浜 展示ホールB・C・D、アネックスホール
- ◆入場者数 商談展示会 <展示ホール> 入場者数 延べ21,330人 [前回 53,400人]
セミナー・シンポジウム<アネックスホール・Web> 参加者数 延べ 860人 [前回 1,200人]
- ◆展示規模 142社・366小間 [前回 244社・570小間]
- ◆概要

「SCビジネスフェア2022」は、ショッピングセンター(SC)関係者が一堂に会するSC業界唯一の商談展示会とセミナー・シンポジウムで構成しており、延べ22,190人にご来場いただきました。

前回の完全オンライン開催で得られた知見を生かし、今回はリアル(商談展示会・セミナー)とオンライン(セミナーのライブ配信)のハイブリッドで開催し、コロナ禍でも多くの方にご参加いただきやすいフェアを目指しました。

オミクロン株の感染拡大を受け、パシフィコ横浜への来場者数は例年に比べて減少しましたが、コロナ禍で困難になっている対面での商談ができる貴重な機会として、ご来場の皆様にご活用いただきました。

今回初の試みとして、有料セミナーのアーカイブ配信を実施いたします。1講座からお申込みいただけますので、全国大会開催中にお聞き逃しのあった皆様は、是非この機会に聴講いただき、SCビジネスにご活用ください。

※アーカイブ配信(有料)のご案内※

- ◆会期(予定) 2022年2月7日(月)～2月28日(月)
- ◆講座
 - 基調講演① 南場智子氏 【ポイント】経済成長に向けた「スタートアップエコシステムと人材流動」
 - 基調講演② 大竹文雄氏 【ポイント】SC運営に必聴の「行動経済学から考えるコロナ感染対策」
 - 記念講演① 平井一夫氏 【ポイント】組織再生に導く「リーダーシップ6か条」
 - 記念講演② 小巻亜矢氏 【ポイント】感動で繋がる「サンリオピューロランドのイノベーション」
 - 流通展望 大久保恒夫氏 【ポイント】デジタルマーケティングに代表される「小売業DXの打ち手」
 - シンポジウム① 若林瑞穂氏、川崎寛氏、中村直文氏、大津武氏
【ポイント】「リアル価値最大化」に向けたディスカッション
 - シンポジウム② 福田三千男氏、椋本充士氏、川井敏行氏
【ポイント】「人材確保のためのSCデベロッパーとテナントの新しい関係性」へのディスカッション
- ◆講座詳細および申込方法
<https://www.scbf.jp/seminar.html> こちらのURLからご確認ください
- ◆受講料(税込) 【会員価格】2,200円/講座 【一般料金】3,300円/講座

【参考】会場での講演の様子



第27回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会

SC接客日本一は、伊藤 二三さん
(三井アウトレットパーク木更津「ジンズ」)に決定しました！

一般社団法人日本ショッピングセンター協会では1995年度から毎年、「SC接客ロールプレイングコンテスト」を開催しています。これはショッピングセンター(SC)業界の一層の発展を願い、SC内店舗で働くテナントスタッフの資質向上を図り、お客様にいつまでも支持され、愛されるSCづくりを目指して開催する接客の技術を競うコンテストです。

感染対策としてマスク着用しながらも、競技者の多くの笑顔が溢れた「第27回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会」の大賞・SC接客日本一に輝いたのは、関東・甲信越支部代表の伊藤 二三(いとう ふたみ)さん(三井アウトレットパーク木更津「ジンズ」)です。伊藤さんには併せて経済産業大臣賞が贈られました。

- ◆開催日 2022年1月28日(金)
- ◆会場 パシフィコ横浜 会議センター1階 メインホール
- ◆競技者数 27人(食品・飲食・サービス部門…9名、ファッション・物販部門…18名)
- ◆見学者数 延べ1,200人[前回2,400人] ※コロナ感染対策として、座席間隔を空けての見学

<第27回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会受賞者一覧> (敬称略)

競技No.	氏名	SC名	店名	支部(地区)
◆大賞・SC接客日本一及び経済産業大臣賞				
26	伊藤 二三	三井アウトレットパーク木更津	ジンズ	関東・甲信越
◆食品・飲食・サービス部門				
優勝				
10	傍島 李沙	タカシマヤ ゲートタワーモール	タリーズコーヒー	中部
準優勝				
6	長谷川 絵理	小田急本厚木ミロード	赤坂柿山	関東・甲信越
◆ファッション・物販部門				
優勝				
21	引屋敷 未知子	エスパル仙台	ファンケル	東北
準優勝				
25	佐藤 和恵	佐野プレミアム・アウトレット	シップス	関東・甲信越
◆審査員長賞				
4	周 里奈	ビーンズ阿佐ヶ谷	カレー専門店 日乃屋	関東・甲信越



【参考資料】

◆(一社)日本ショッピングセンター協会とは

日本ショッピングセンター協会は1973年4月、わが国のショッピングセンター(SC)の発展を通じて消費者の豊かな生活づくりと地域社会の振興に貢献することを目的に設立された。その後1975年4月に、社団法人として通商産業省(現経済産業省)から許可を受けた。2012年4月1日、内閣府から認可を受け共益的活動を中心として行う一般社団法人に移行。

会長	清野 智	東日本旅客鉄道(株)	顧問
副会長	岩村 康次	イオンモール(株)	代表取締役社長
〃	大林 修	三井不動産商業マネジメント(株)	代表取締役社長
〃	佐野 公哉	片倉工業(株)	取締役会長
〃	福田 三千男	(株)アダストリア	代表取締役会長
〃	棕本 充土	(株)グルメ杵屋	取締役 兼 代表執行役社長
専務理事	椿 浩	(一社)日本ショッピングセンター協会	

会員数(2022年2月1日) 第一種正会員 309社 第二種正会員 266社 賛助会員 332社 / 合計 907社

◆ショッピングセンター(SC)の定義

ショッピングセンターとは、1つの単位として計画、開発、所有、管理運営される商業・サービス施設の集合体で、駐車場を備えるものをいう。その立地、規模、構成に応じて、選択の多様性、利便性、快適性、娯楽性等を提供するなど、生活者ニーズに応えるコミュニティ施設として都市機能の一翼を担うものである。

SC取り扱い基準

- ショッピングセンターは、ディベロッパーにより計画、開発されるものであり、次の条件を備えることを必要とする。
- 1.小売業(物販)の店舗面積は、1,500㎡以上であること。
 - 2.キーテナントを除くテナントが10店舗以上含まれていること。
 - 3.キーテナントがある場合、その面積がショッピングセンター面積の80%程度を超えないこと。
ただし、その他テナントのうち小売業(物販)の店舗面積が1,500㎡以上である場合には、この限りではない。
 - 4.テナント会(商店会)等があり、広告宣伝、共同催事等の共同活動を行っていること。

SCのイメージとしては、単体の施設ではなく複数の店舗の集合体であるとともに、1つの単位として管理・運営されている施設を指す。具体的な例としては、百貨店やGMS、SMなどを核とした大型商業施設やシネコン・ホテル・公共施設などを併設した複合施設、ファッションビル、駅ビルや地下街などがある。

またディベロッパーという言葉も、本来の不動産開発という意味よりはむしろ、SCを管理・運営する立場を指す場合のほうが現状では多い。

以上